

鳩書伝の経済

心正す「五心」持ち、介護力身に付けて

介護の質は携わる人材の質の向上が重要。グループホームなどの介護施設従事者、行政職員らを対象にした研修会「北見塾」が18日から3日間、北見市内の北光地区住民センターなどで開かれた。北見、網走といった管内や旭川から合わせて180人が参加し、介護職の重要性、人と接する際の心の大切さなどを再認識した。



人材の質向上へ…研修会「北見塾」

北見塾は北見者の「継栄と人財創造」を主眼とする。市内でグループホーム、デイサービスセンターを運営する(有)早川氏は、講師に東京で介護事業

者として、家を(会社)を

を修めることもできな

の心、私がおきます。『奉仕の心』、おかげさまでという『謙虚な心』、ありがたの『感謝の心』の五心を持たなければ介護力はない」と強調した。

素直な心とは、人の言うことを「ハイ、わかりました」と聞き入れることができること。ハイは漢字に直すと「排」となる。自分のわがまま、いら立つ感情を捨て去るため排除するという意味。

東京の介護事業者・早川浩士氏招き

「いやだな」「忙しいのに」と思

わず、自分よりも相手を優先させる「拜」の気持ちで返事をしてくださいとアドバイスした。参加者は介護施設利用者や心良く利用でき、自身を磨くために多くのことを吸収しようという熱心に聞き入っていた。

早川浩士氏

(成)